

現在、東日本大震災の発生による大きな社会経済情勢の変化や生活保護扶助費の増加、急速な高齢化の進行による社会保障費の増大、公共施設の更新経費の急増など様々な課題が山積している状況にあります。

これらの行政課題への増大に加え、生活年齢人口の減少による税収の縮減が見込まれており、真に必要な区民生活の需要に対応していく為には、各部署・所管に一律に予算の減額を提示するのではなく、「**選択と集中**」を徹底して図り、**持続可能**な板橋区財政にしていかなければなりません。

《板橋区民意識意向調査報告から》

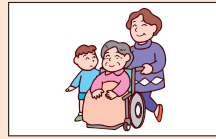
質問 区が今後重点的に力を入れるべき施策分野は

解答 ① 子育て ② 健康・衛生 ③ 高齢者介護 ④ 防犯 ⑤ 防災 ⑥ 学校教育
(上位6位までの結果を掲載)

みなさんの納めた10,000円は、このように使われています

福祉費 5,076円

高齢者や障がいのある方、子どもたちなどのために



総務費 1,474円

まちの行事、防災、集会施設、区役所の管理などに



教育費 1,316円

学校・幼稚園などの教育関係に



資源環境費 634円

ごみの収集・運搬、リサイクルの推進などに



土木費 422円

道路・公園、緑化の推進、都市の整備などに



公債費 496円

特別区債（借入金）の返済に



衛生費 381円

予防接種、健康診断、健康福祉センターの運営などに



産業経済費 100円

中小企業の振興や農業振興などのために



議会費 84円

区議会の運営に



諸支出金・予備費 17円

基金の積立や、災害など緊急時の予備などに



※区の財源には、あらかじめ使いみちの決められていない「一般財源」と使い道の決められている「特定財源」があります。この金額は「一般財源」を割り戻したものです。

第一回 区議会定例会〈一般質問要旨〉 平成25年2月14日

未来創造プランについて問う

質問 いたばし未来創造プランの策定にあたり何を選択し、何に集中させたのか。

区長 中長期的には成長戦略に掲げる魅力創造発信都市と安心安全環境都市の実現をめざした8つの成長分野に、短期的にはNo.1実現プラン2015編に掲げる3つの重点政策に経営資源を振り向けていく。

質問 東京都健康長寿医療センターなどの医療機関が立地する豊富な医療資源の活用について見解を。

区長 区の強みをいかした成長戦略の構築と展開について研究していく。

いじめ防止対策について問う

質問 いじめ防止対策基本法の策定など、いじめ防止対策に関する国の動きについて見解を。

教育長 法案整備だけでなく、その運用が重要。いじめの問題を隠さず、適切な実態把握や対応が必要であり、今後の法整備の動向を注視していく。

質問 いじめが解決したと認識した場合でも、一時的ではなく、さらなる対策を。

教育長 いじめがないかを継続的に確認しており、その後も注意していく。

質問 問題に取り組む学校の現場において、より効果的で指導力のある対策を。

教育長 学校の状況を十分に把握した上で、対応方法などの指導を含め、支援の充実を図っていく。

地域防災計画について問う

質問 一時救護所の果たすべき役割について見解を。

区長 傷病者が殺到する中での迅速な対応は、区民の生命を守るためにも大変重要。

質問 消防団員の拡充に向けて新たな取組が必要、見解を。

区長 今後も各種防災事業や広報いたばしへの掲載などで支援していく。

質問 薬剤師会と医薬品の備蓄などで連携を深めているにもかかわらず、防災無線が設置されていないのはなぜか。

区長 薬剤師会との協議の中で、設置が必要とされた場合は検討する。

文化振興事業の推進を問う

質問 板橋吹奏楽団と小中学校のプラスバンドなど、幅広い世代で交流できるコラボレーション演奏の実施を。

区長 音楽文化に対する関心を高める効果的な情報発信手段と考えており、実施に向けて検討を進めていく。

※以上のほか、公共施設の老朽化への対策、放課後対策事業(あいキッズ)の進め方について質問があった

第四回 区議会定例会〈一般質問要旨〉 平成25年11月28日

いじめ防止対策を問う

質問 いじめが芽の段階の内に学校の現場で対応できる体制を整えるべき。

区長 教育委員会の組織と各種相談、支援事業をベースとしながらオール板橋で対応する体制の整備に努める。

質問 法の理念に基づき議会からの提案を参酌し、条例として「地方いじめ防止基本方針」を定めるべき。

教育長 国・都の基本方針を受け、区の基本方針を策定する。区の条例・方針は、議会提案を踏まえ、実態に即した実効性の高い内容とする。

親の一日保育士体験事業の推進を問う

質問 25年度に試行として開始した事業に対する区長の見解は。

区長 体験事業を日々の子育てに活かすことを期待する。

質問 私立保育園における実施のスケジュールは。

区長 実施に向け、私立保育園園長会で働きかける。

補助87号線の進捗状況を問う

質問 延長930メートルの計画道路のうち、帝京大学前の御成橋から稲荷台の区間は双方向通行ができるよう、整備が必要である。また、この区間以外の整備スケジュールは。

区長 帝京大学前300メートルの区間は26年に着工し、30年末に双方向通行道路として完成予定。残りの区間は次期計画での位置付けを今後検討する。

健康長寿医療センター移転に伴う横断歩道などの整備を

質問 センターの新しい正門前には横断歩道が1本新設されただけで、信号機などの整備はない。区は都に働きかけを。

区長 信号機の設置を含めた安全対策を板橋警察署などへ要望する。

東京オリンピックに向けた取組みについて問う

質問 りんりんちゃん3つのセットを「金りんちゃん」「銀りんちゃん」「銅りんちゃん」とネーミングし、区のPR、商店街活性化を図っては。

区長 グッズによるPRを含め、ナショナルトレーニングセンターへの来訪者などを商店街に引き寄せる方を商店街、地域住民と検討する。

※以上のほか、あいキッズ、社会科見学、公共施設マスタープラン、就職活動サポート事業、行政書士名札表示板、板橋Cityマラソン、選挙について質問があった

※全文は、板橋区議会のホームページに掲載されています